

より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための実践をする  
ラダーV

氏名

ニーズをとらえる力

レベル毎の目標:ケアの受け手や状況(場)の関連や意味を踏まえてニーズをとらえる

行動目標	ラダーV			
	実践例	できる:○、自信ない△、できない×		
		評価	評価	評価
	月 日	月 日	月 日	
□複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる				
■困難事例の状況などを的確にアセスメントし多様なニーズをとらえることができる				
■地域全体を俯瞰して、ニーズに対して不足している機能を提案し、地域に働きかけることができる				
■看看連携を行い利用者がスムーズに在宅に移行できるよう環境を整えることができる				
■訪問看護提供体制について適切な説明を行い利用者の理解を得ることができる				

より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための実践をする  
ラダーV

氏名

ケアする力

レベル毎の目標:最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する

行動目標	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護及び看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる <input type="checkbox"/> 複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる																	
	実践例	できる:○、自信ない△、できない× <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <th>月 日</th> <th>月 日</th> <th>月 日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <b>■在宅での先進的なケアや処置、機器等の管理方法、最新の疾患に対する知識や技術等を取得し、ケアに活かすことができる</b> </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> <b>■利用者や家族(または利用者を取り巻く人々)が希望するケアの提供が難しい身体状態であっても、あらゆる技術や工夫によって、最大限ニーズを満たすケアを提案できる</b> </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> <b>■困難事例の課題を、看護理論等に沿って整理し、必要なケアを実施できる</b> </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			評価	評価	評価	月 日	月 日	月 日	<b>■在宅での先進的なケアや処置、機器等の管理方法、最新の疾患に対する知識や技術等を取得し、ケアに活かすことができる</b>			<b>■利用者や家族(または利用者を取り巻く人々)が希望するケアの提供が難しい身体状態であっても、あらゆる技術や工夫によって、最大限ニーズを満たすケアを提案できる</b>			<b>■困難事例の課題を、看護理論等に沿って整理し、必要なケアを実施できる</b>	
評価	評価	評価																
月 日	月 日	月 日																
<b>■在宅での先進的なケアや処置、機器等の管理方法、最新の疾患に対する知識や技術等を取得し、ケアに活かすことができる</b>																		
<b>■利用者や家族(または利用者を取り巻く人々)が希望するケアの提供が難しい身体状態であっても、あらゆる技術や工夫によって、最大限ニーズを満たすケアを提案できる</b>																		
<b>■困難事例の課題を、看護理論等に沿って整理し、必要なケアを実施できる</b>																		

より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための実践をする  
ラダーV

氏名

## 協働する力

レベル毎の目標: 受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす

行動目標	<input type="checkbox"/> 複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる <input type="checkbox"/> 多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる			
	実践例	できる:○、自信ない△、できない×		
		評価	評価	評価
		月 日	月 日	月 日
	■ 困難事例に対して、多職種や行政、保健福祉サービス提供者と連携し、問題解決のための中心的役割を果たすことができる			
	■ 看護の質向上のために、他の訪問看護事業所とネットワークをもって活動することができる			
	■ 地域担当の保健師や地域包括支援センター、社会福祉協議会 介護保険課等の行政組織と日頃から良好な関係づくりに努め、訪問看護の役割について理解を得ることができる			

より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための実践をする  
ラダーV

氏名

意思決定を支える力

レベル毎の目標: 複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる

行動目標	<input type="checkbox"/> 適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる <input type="checkbox"/> 法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる																								
	実践例	できる: ○、自信ない△、できない× <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <th>月 日</th> <th>月 日</th> <th>月 日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <b>■ 困難事例において、意思決定に伴うゆらぎに寄り添いながら多職種と連携し意思決定へ導くことができる</b> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> <b>■ 利用者と家族・介護者の希望やイメージを含めてくみ取りながら、最適な方向へ調整する事ができる</b> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> <b>■ 本人の意志決定を支えるために、地域の社会資源や権利擁護等のリソースを活用して調整ができる</b> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> <b>■ 困難事例において「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に沿ったかわりができる</b> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			評価	評価	評価	月 日	月 日	月 日	<b>■ 困難事例において、意思決定に伴うゆらぎに寄り添いながら多職種と連携し意思決定へ導くことができる</b>				<b>■ 利用者と家族・介護者の希望やイメージを含めてくみ取りながら、最適な方向へ調整する事ができる</b>				<b>■ 本人の意志決定を支えるために、地域の社会資源や権利擁護等のリソースを活用して調整ができる</b>				<b>■ 困難事例において「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に沿ったかわりができる</b>		
評価	評価	評価																							
月 日	月 日	月 日																							
<b>■ 困難事例において、意思決定に伴うゆらぎに寄り添いながら多職種と連携し意思決定へ導くことができる</b>																									
<b>■ 利用者と家族・介護者の希望やイメージを含めてくみ取りながら、最適な方向へ調整する事ができる</b>																									
<b>■ 本人の意志決定を支えるために、地域の社会資源や権利擁護等のリソースを活用して調整ができる</b>																									
<b>■ 困難事例において「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に沿ったかわりができる</b>																									

より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための実践をする  
ラダーV

氏名

## 組織的役割遂行能力

レベル毎の目標: サービスの質向上にむけ組織の課題や方向性を明確にし取り組むことができる

行動目標	組織的役割遂行能力			
	レベル毎の目標: サービスの質向上にむけ組織の課題や方向性を明確にし取り組むことができる			
	実践例	できる:○、自信ない△、できない×		
評価 月 日		評価 月 日	評価 月 日	
<input type="checkbox"/> 地域・組織から求められる役割を遂行できる <input type="checkbox"/> 現場の課題に対し、具体的解決を図れる				
<b>■人事管理</b>				
・ 必要な人員の確保ができる				
・ 労働基準法に則った勤務体制の整備ができる				
・ 求人・採用: 採用計画の立案や求人票の作成、求人先への依頼、採用試験面接、採用決定等について、所属長と連携して行うことができる				
・ 退職・解雇: 退職時の事務手続きの管理、必要時解雇予告ができる				
・ 非常勤職員の雇用: 適正な労働時間や日数の設定ができる				
・ 職場規律(日報の管理、職場内外のモラル、賞罰等の規定)が徹底できる				
・ スタッフの能力や勤務形態などに応じた業務分担、役割分担を行うことができる				
・ 日々の勤務体制、職務内容を定め、勤務表を作ることができる				
<b>■労務管理</b>				
・ 勤務時間、時間外・休日勤務・有給休暇の管理ができる				
・ 人事異動・考課について、管理者と共に決定または把握を行うことができる				
・ 福利厚生・安全衛生: 健康診断の実施、職員の疾病や労務災害、死亡に関わる規定の把握と適応、自己の健康管理への意識付けができる				
・ 社会保険、労災保険の加入手続きの管理ができる				
・ 職員家族の移動の把握、扶養控除等の事務手続きの管理ができる				
・ 現金、貯金通帳について事務方と連携し、所在の責任と管理ができる				
・ 行政からの監査を受け、指導内容について職員へ周知し改善ができる				
<b>■経営管理</b>				
・ 診療報酬・介護報酬・各種医療保険・公費負担医療からの報酬を理解し、保険者への請求ができる				
・ 関係機関に加算の届けや各種申請を適宜行うことができる				
・ 利用料金及び未集金含め財務の管理ができる				
・ 訪問看護に関する制度改定内容に目を向け、ステーションの現状を把握して経営につなげることができる				

※黄色い部分は変更不可

実践例	できる:○、自信ない△、できない×		
	評価	評価	評価
	月 日	月 日	月 日
・訪問看護ステーションの運営方針と経営方針に基づいた目標を設定し、目標を達成するための具体的な事業計画を立案し運営を行うことができる			
・毎月の訪問看護の実績と保険請求額の把握、帳簿記載等の管理ができる			
・事業収入と支出額の把握と採算性を評価できる			
・黒字経営のために経営目標を明確化し、職員に意識統一を図ることができる			
・高額療養費や各助成制度について理解し、利用者への助言ができる			
・ステーションが属する法人について理解し、その会計システムを理解することができる			
<b>■サービス管理</b>			
・サービスの質の保証、評価、サービス体制の整備を行う。苦情や要望も迅速かつ適切に改善を図ることができる			
・サービス内容や質にばらつきが生じないように訪問看護サービス提供の方針や、訪問看護基準、訪問看護手順などの施設内基準を作成できる			
・適宜、規定やマニュアルの整備を行うことができる			
・サービス内容を定期的に評価し、事業所全体の質の向上に努める			
・訪問看護事業の運営規程に基づいた訪問看護事業を実施できる			
・地域包括ケアシステムに係る方針や計画を理解し地域の特性に沿ったサービス提供ができる			
・事故発生、災害発生時の対応についてマニュアルを作成し、危機管理体制を整備することができる			
・事務所の整備、備品や棚の定期的な点検・管理に携わる責任者の所在を明確にする。また、必要な物品等を常備し、保管・点検について把握ができる			
<b>■スタッフ管理</b>			
・組織内の信頼関係の構築や、職員のモチベーションの維持・向上への取組みができる			
・訪問看護サービスや事業の運営に関する記録は方法を統一し、確認や指導ができる			
・利用者の情報漏えい防止の取組みができる:情報の取り扱い基準や規定の作成、職員への教育・指導ができる			
・感染予防に関する教育、感染事故の防止策の作成と周知、及び徹底を図ることができる			

より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための実践をする  
ラダーV

氏名

## 自己教育・研究能力

レベル毎の目標: 自己の学習活動は積極的に取り組みながら、同時に個々のスタッフのキャリアアップに向け指導・支援することができる

行動目標	<input type="checkbox"/> 単独で専門領域や高度な看護技術等についての自己教育活動を展開することができる。主となり、研究活動を実践できる。また教育的役割がとれる。			
	実践例	できる: ○、自信ない△、できない×		
		評価	評価	評価
		月 日	月 日	月 日
	■ 自己のテーマを継続して研究に取り組むことができる			
■ 常に最新の情報の取得に努力することができる				
■ 自己課題を明確にし、課題解決に向け自主的に行動できる				
■ スタッフの看護や研究の動機づけと取り組みについて助言、指導ができる				